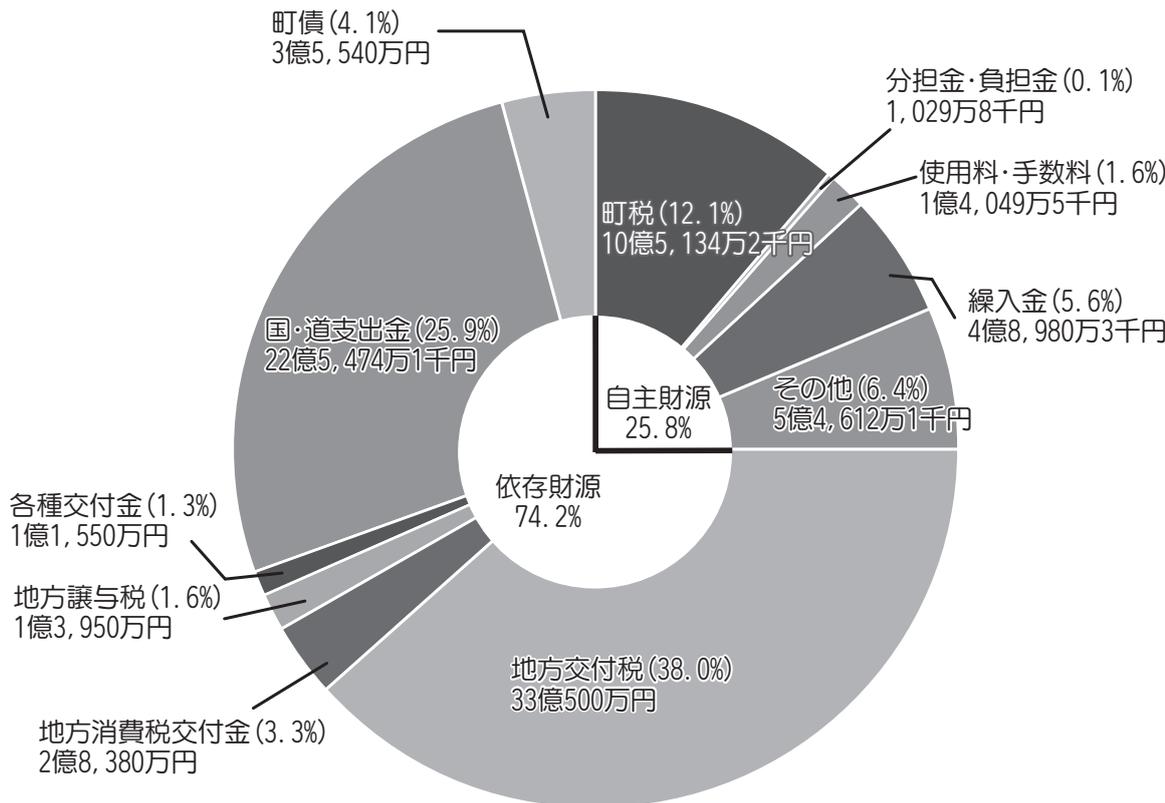


令和7年度 上富良野町の 予算

一般会計の歳入



「自主財源」の割合が大きいほど財政は安定していると言えます。
上富良野町は依存財源が多くを占める脆弱な財政構造です。

一般会計

福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です

86億9,200万円

特別会計

特定の目的のための会計で、国民健康保険や介護保険など4つの会計があります

29億352万4千円

国民健康保険	11億7,524万円	
後期高齢者医療	2億137万2千円	
介護保険	11億1,858万7千円	
ラベンダー ハイツ事業	4億832万5千円	

公営企業会計

町が運営する企業の会計で、水道事業会計や病院事業会計など4つの会計があります

26億6,108万5千円

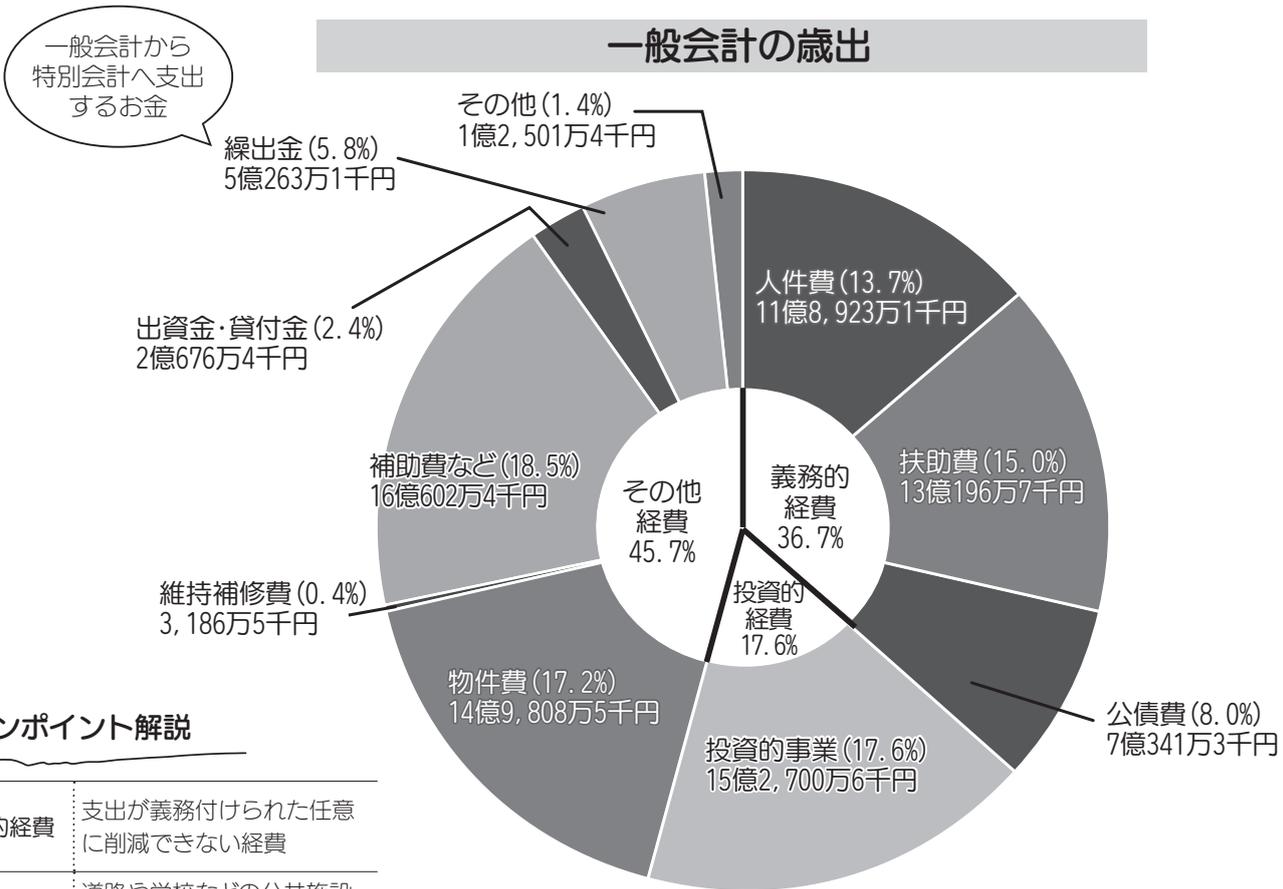
病院事業	16億5,278万2千円	収益11億9,586万1千円	資本4億5,692万1千円
水道事業	2億5,653万8千円	収益1億5,674万8千円	資本9,979万円
簡易水道事業	2億349万7千円	収益6,960万1千円	資本1億3,389万6千円
公共下水道事業	5億4,826万8千円	収益3億3,426万8千円	資本2億1,400万円

ワンポイント解説

公営企業会計では、予算の構成上「収益的収支」「資本的収支」の二本立てとなります。簡単に言えば「収益的収支」は現在のために使うお金(日々の営業活動に必要な経費)、「資本的収支」は、将来のために使うお金(施設の改良など)となります。

予算の概要
令和7年度の一般会計、特別会計、公営企業会計のすべての会計を合わせると、142億5千660万9千円です。前年度と比較して18.6%の減となりました。

一般会計の歳出



ワンポイント解説

義務的経費

支出が義務付けられた任意に削減できない経費

投資的経費

道路や学校などの公共施設の改築や改修、災害時の施設復旧などを行う経費

その他経費

施設の維持管理、光熱水費、消耗品など

福祉、教育など13の目的の歳出

議会費	総務費	民生費	予備費
町議会の運営に必要な経費	役場の全体的な仕事や防災に係る経費	社会福祉や障がい者、高齢者、児童福祉などに必要な経費	緊急の支出に充てるために必要な経費
5,771万9千円	12億3,499万4千円	18億9,784万5千円	2,000万円
衛生費	労働費	農林業費	
医療や健康づくり、環境保全、ごみ処理などに必要な経費	労働者の職業能力開発支援に必要な経費	農林業の振興や普及に必要な経費	
12億4,536万2千円	68万円	7億6,396万4千円	
商工費	土木費	教育費	
商工業の振興や育成、観光振興などに必要な経費	道路や河川、橋梁の維持や公営住宅の管理・整備に必要な経費	学校教育、社会教育などに必要な経費	
2億1,149万3千円	9億2,300万円	6億5,555万円	
公債費	給与費	災害復旧費	
借入したお金の返済に必要な経費	職員の給与、手当や福利厚生などに必要な経費	被災した公共施設の復旧に必要な経費	
8億345万4千円	8億7,793万9千円	－円	

ここで掲載しているのは概要です。「知っておきたいことしのしごと」は、町ホームページに掲載しています。こちらからご確認ください。



問 総務課財政管理班

☎456980